

【小児科】の休日夜間急患センターを 限定的 に再開いたします。

【令和2年5月16日】

□ 当院における新型コロナウイルス感染症発生状況 ならびに今後の対策について

今回熊本地域医療センターにおいて5月8日に4人目の新型コロナウイルス感染症が確認されましたことは、すでにご存じのことかと思えます。4人目の感染者は臨床検査技師で、3人目感染者の濃厚接触者として14日間の隔離期間を過ぎ、5月7日に出勤し臨床検査室内で約1時間30分にわたり検査業務を行いました。患者さんや職員に濃厚接触者はいませんでした。念のため5月10日に臨床検査技師11名のPCR検査を行いましたところ全員に陰性が確認されており、現在新型コロナウイルス感染を疑うような有症状者はおりません。職員約300名のサーベイランスのためのPCR検査は陰性でしたので、自宅待機中の職員の隔離解除を待って5月7日より通常診療（一般外来、休日夜間急患センターならびに新規患者の診療）を開始したところございました。4人目の感染者が発生したことにより5月9日18時より内科・外科・小児科の休日夜間急患センターを再び休止し、5月11日から新規患者の診療も休止しております。

4人目の感染者は最終接触から14日間という隔離期間を過ぎてからの発症（発熱）であり、非常にまれな事例ではありますが当センターが真摯に受け止めるべき重要な問題点と考え、感染者有無の確認および感染対策マニュアルの見直しを行いました。今後当分の間、当センター職員で発熱や倦怠感などの症状がある場合は、直ちに自宅安静とし、72時間を目安にPCR検査を実施し陰性であることを確認し、十分な解熱や症状改善が得られ、さらに感染症対策部の許可が得られた後に出勤可能とすることといたしました。

□ 【小児科】の休日夜間急患センターにおける 限定的 な再開について

これまで、熊本市では小児の休日夜間急患診療を主に熊本赤十字病院と当院が担ってまいりました。当院は熊本県の小児救急拠点病院ならびに熊本市の急患センターとして小児の一次、二次救急を担当し、年間約17,000人の小児救急外来受診者を受け入れてまいりました。熊本市ならびに近郊で小児の休日夜間救急診療に対応できる施設は十分ではないため、当院の休日夜間急患センター休止が長期間にわたれば、小児医療に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

そのため、小児の休日夜間急患センターの再開が急務と考え、熊本市保健所の指導もと5月18日（月）からの限定的な小児診療の再開を決定いたしました。

□ 休日夜間急患センター【小児科】の診療時間について

5月18日から31日までの『平日』は 18:00～23:00

5月23日（土）、30日（土）は 13:00～23:00

5月24日（日）、31日（日）は 8:00～23:00

いずれも受付時間は22:30までとなります。

【小児科】については、6月1日からはこれまで通り、深夜外来も再開する予定です。

なお、当センターの通常診療および【内科】・【外科】の休日夜間急患センター 再開につきましては、決定次第お知らせいたします。

引き続き、保健所の指導のもと対応をすすめ、職員一丸となってコロナウイルス感染の封じ込めに努めて参ります。また、詳細な情報については、熊本市保健所ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」をご参照ください。今後も新しい情報が入りましたら、速やかに公表してまいります。皆様には、ご心配ならびに、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。